

2023. 2. 20

# Report from AKATSUKA PARK

発行：赤塚公園ニリンソウを守る会

- 植物モニタリング活動 3/6、3/13 9:00 ため池公園スタート
  - ニリンソウシーズン直前の観察・学習活動 3/12 10:00 大門観察台集合
  - ニリンソウ月間2023 3/18(土)～4/16(日)
- 期間中の土・日 10:00～12:00 大門自生地でのニリンソウガイド  
期間中の毎月曜日 9:00～12:00 春の野草観察会 モニタリングと同じ時間・場所  
★どの活動も、飛び入り参加歓迎！ 雨天は小雨でも中止

<問合せ：赤塚公園サービスセンター03-3938-5715>

## 何を想うか？四方を睥睨(へいげい)するカワウ



2/20のモニタリング(植物観察・記録活動)。9:00にため池公園をスタートして1時間半かけて城址をひと回りして再びため池公園に戻ってきても、メタセコイヤのてっぺんとまっていたカワウはまだ動かず、じっと四方を見回していました。一段低い枝にはもう一羽がとまっていて、つがいなのでしょう。

人間世界を見降ろして、「何をやってんだろうねえ～、人間って生き物は。今にも戦争が起こりそうで、物騒で仕方ないよ」と雄鳥が言え、つれあいが「そんなところでミサイルが飛んでくるのを見張ってたってしよ

うがないでしょ！ それよりも、あんた、最近、餌になる魚がないわよ。どうしてくれんのかよ！」と小言を言

えば、「しょうがねえじゃないか、だいいち餌になる魚の餌代が値上がりして、俺たちが食う魚も値上がりしてんだよ」「あんた、いい加減なこと言うんじゃないよ！ さっさと魚を見つけて、獲ってらっしゃい！」「あ～あ、世の中暮らしにくくなったなあ～」と言ったかどうかは知りませんが、自然条件も社会・経済状況も、生き物が生きづらくなってきている昨今です。

## 梅の花は青空が似合う、でも逆光ではダメ



ため池公園でも城址本丸でも、ウメは五分咲き。青空を背景に撮影すると映えるのですが、逆光で撮影するとなんだかわからない写真になってしまいました。



# 50 cm四方の花探し



城址二の丸の梅林下、日当たりの良い場所では落ち葉を押しつけて春の花が次々と見つかります。  
←の写真では判別不能ですが、この狭い範囲の中に、**フラサバソウ**と**オオイヌノフグリ**の咲き揃い、**ミチタネツケバナ**、**ヒメオドリコソウ**の花と、**カラスノエンドウ**(展葉)がありました。

お互いに殺し合うことなく、相互依存で生きています。

## 冷たい風が吹いていても、陽だまいは温かい



←八丁目の林の周りで**カラスノエンドウ**の開花を今年初めて観察しました。その近くでは**オオイヌノフグリ**が満開でした。→



### ジロボウエンゴサクと ニリンソウの展葉

城址西斜面の<**ジロボウエンゴサク**の斜面>では勢いよく葉が伸びてきました。ニリンソウよりも少し早く開花します(左下)。



**ニリンソウ**は擬木の下の人々が歩く足元で展葉がよく見られます。ここは落ち葉の堆積が薄いからでしょう。→

